

シート（運転席）位置が運転時の 視野に与える影響について

園原和樹，佐藤理恵，中村真大，藤原敦史，松塚 翔司，外川佑[※]

桔梗ヶ原病院

山形県立保健医療大学保健医療学部作業療法学科[※]

2024年6月1日

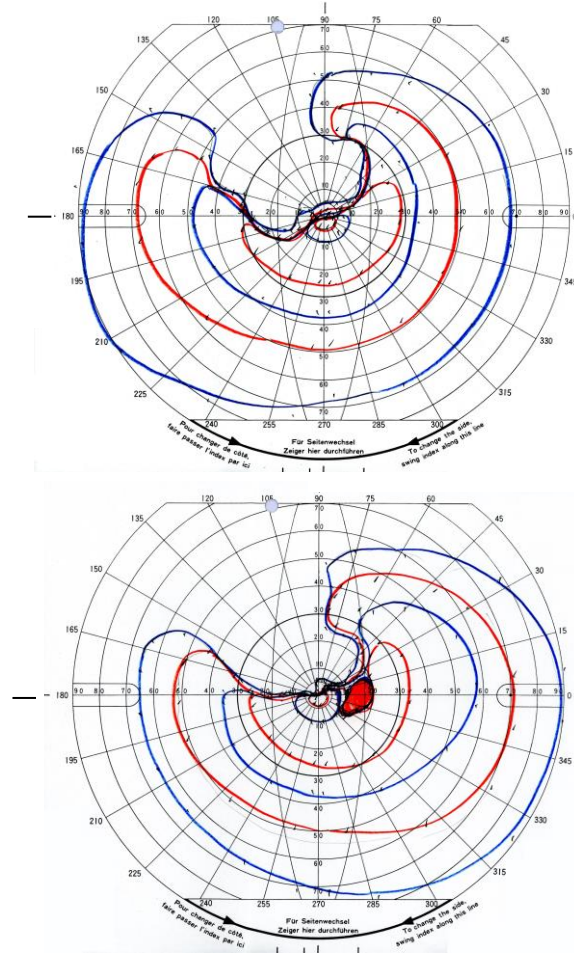
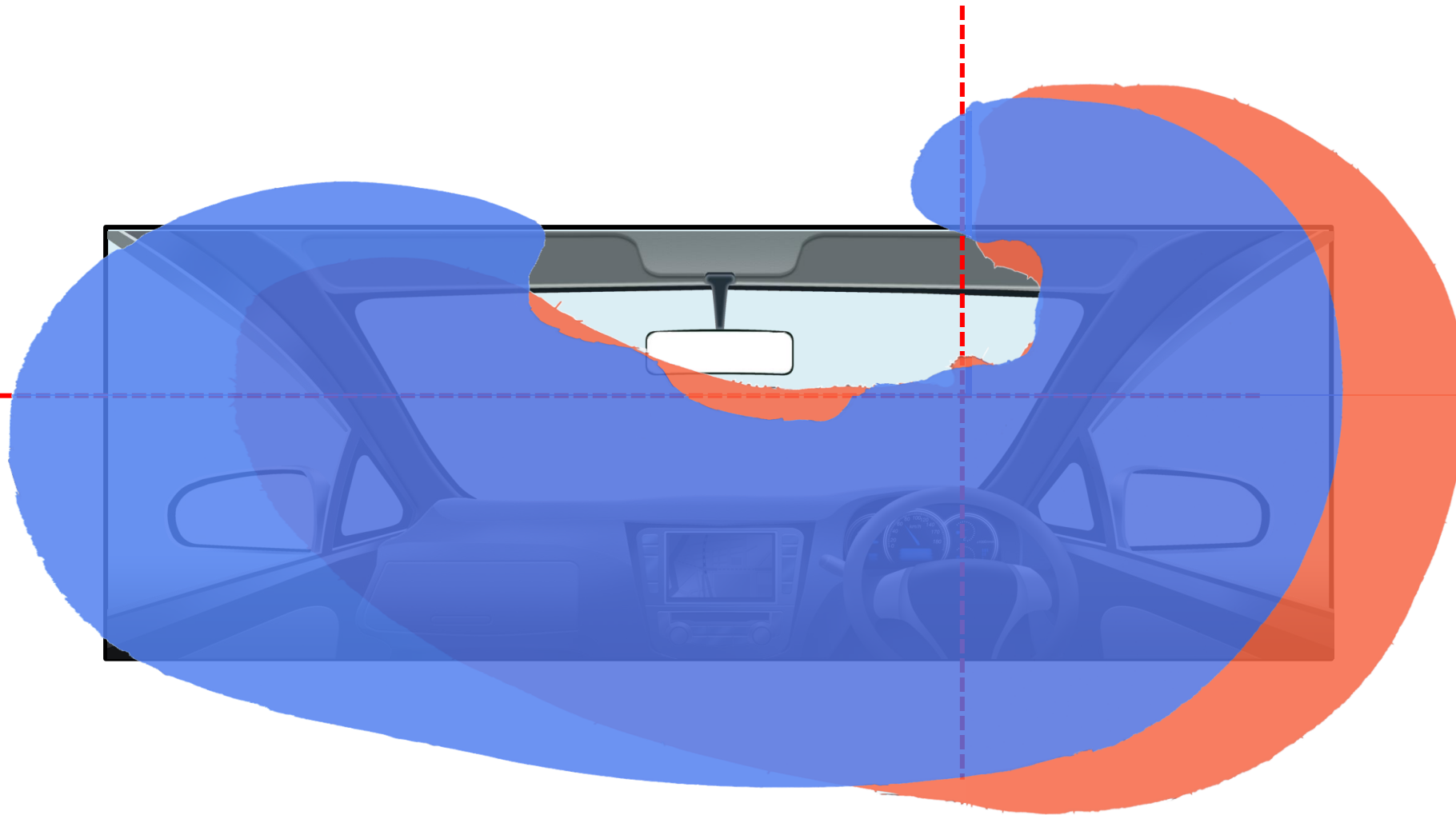
第13回日本視野画像学会学術集会

はじめに

長野県では, 2023年に長野県障がい者運転支援連絡会を中心として, 視野障害者における運転評価の指針が定められた。

運転支援の現場では、①視野検査の結果から患者の視野を現実世界に重ねてイメージすることが難しい, ②視野欠損が運転能力に与える影響を推察することが難しい, ③運転と視野の両者を評価できる専門職が少ないとの課題が存在する。

視野障害者における運転時の視野画像



※視野障害者における運転時の視野可視化の試み
第12回日本視野画像学会学術集会より

健常ドライバーにおける運転時の視野画像

【対象車両】

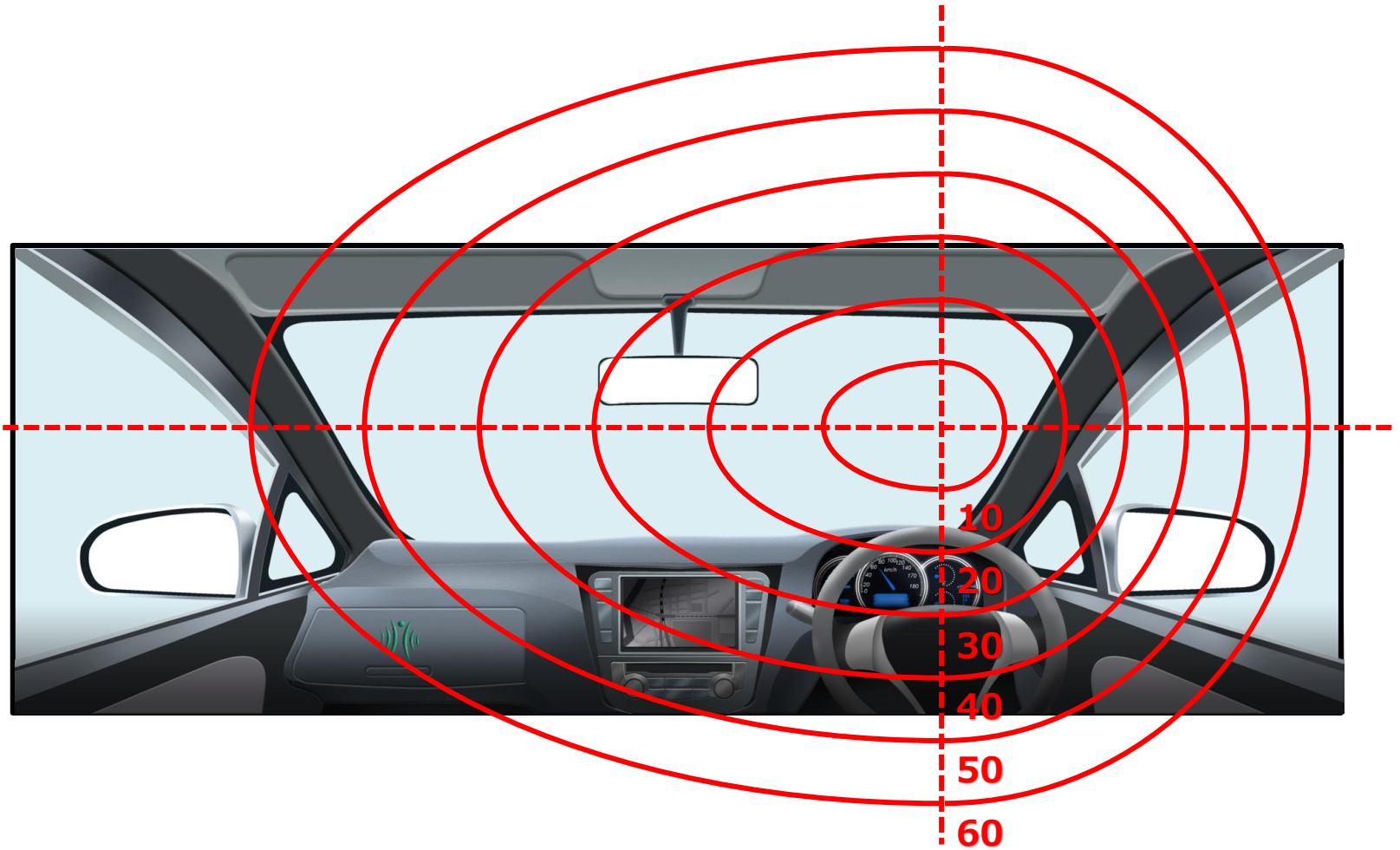
普通自動車10台

【測定条件】

正しいドライビングポジションにおいて視野角度を測定。

【課題】

シート(運転席)位置の違いが運転時の視野に与える影響を想定できていない。



※健常ドライバーにおける運転時の視野可視化の試み
第46回日本高次脳機能障害学会学術総会より

目的、方法①

【目的】

今回, 我々はシート位置の違いが運転時の視野に与える影響について検証した。

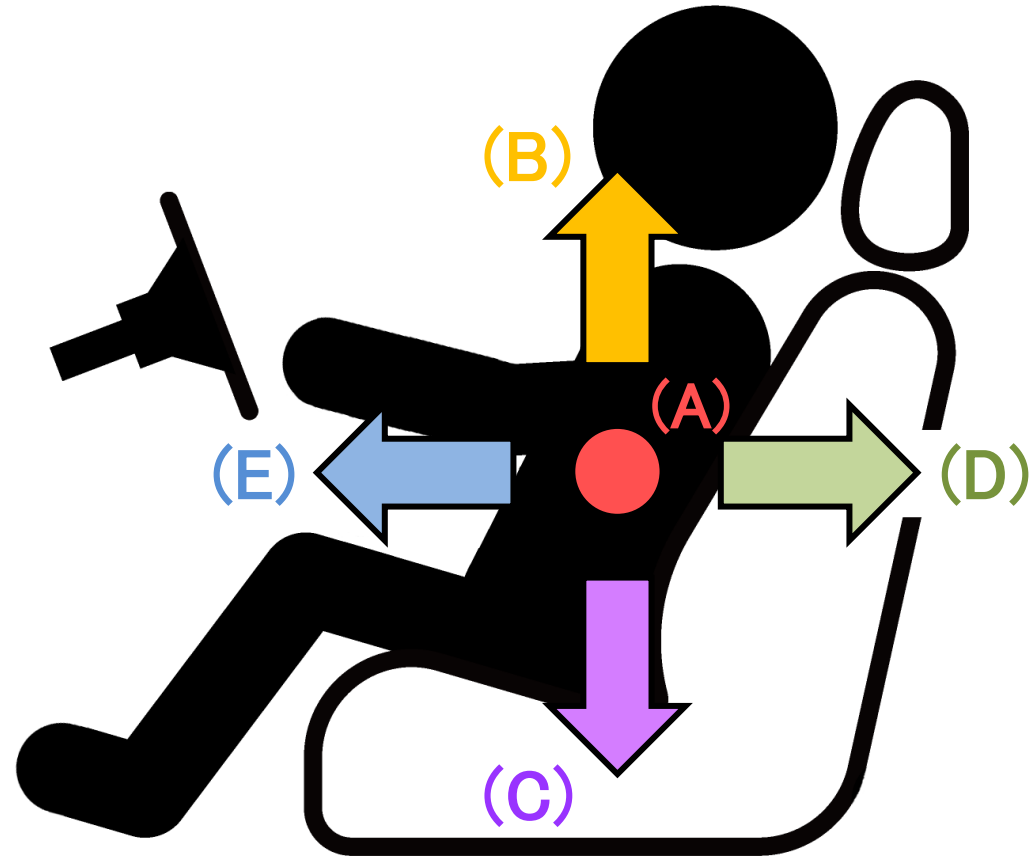
【方法】

特定の車両(トヨタ プリウス)を対象として、検査者5名によりシート位置を変えて、車内3個所の視野角度を測定した。

- ①視野の中心から左サイドミラー中央まで
- ②視野の中心から右サイドミラー中央まで
- ③フロントガラス上縁から下縁まで



方法②シート位置の5条件



(A)正しいドライビングポジション

(B)シート最上部

シートを最も上にあげた位置

(C)シート最下部

シートを最も下に下げた位置

(D)シート最後部

シートを最も後ろに引いた位置

(E)シート最前部

両手でハンドルを9時15分の位置に持った時肘角度 90° となるまでシートを前に出した位置

結果

		視野角度(°)		
		Fガラス上下	左ミラーまで	右ミラーまで
正しい位置 (A)	平均	25.0	64.4	38.6
	範囲	24 ~ 28	63 ~ 66	36 ~ 42
シート最上部 (B)	平均	23.4	65.8	37.6
	範囲	22 ~ 24	61 ~ 70	34 ~ 39
	差異	-1.6	1.4	-1
シート最下部 (C)	平均	28.0	64.6	39.4
	範囲	25 ~ 33	61 ~ 68	38 ~ 40
	差異	3	0.2	0.8
シート最後部 (D)	平均	22.4	58.6	34.8
	範囲	20 ~ 25	56 ~ 60	34 ~ 36
	差異	-2.6	-5.8	-3.8
シート最前部 (E)	平均	26.6	62.8	41.6
	範囲	25 ~ 30	59 ~ 65	39 ~ 44
	差異	1.6	-1.6	3



結語

I. 視野障害者の運転支援に運転時の視野画像を用いる際、シート位置の違いにより視野角度に最大 5.8° の差異が生じる可能性がある。

II. 今回の検討は検査者が自分自身を対象として視野角度の測定しているため、座高による影響を除外できていないことが課題である。今後は被検者を一人に限定し、複数の検査者により視野角度の測定を行うことが望ましい。